

ご入学・ご進級おめでとうございます

生徒ならびに保護者のみなさま、ご入学・ご進級おめでとうございます。152名の新入生を迎え、令和4年度は、全校生徒数348名でのスタートとなりました。今年度も保護者のみなさまと学校との連携を大切にしながら、お子さまを見守り、育てていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。次の文書は入学式の式辞ですが、4月当初に全教職員に示したものと、8日(金)の保護者会にて話したことと同じ内容ですので、お読みいただければと思います。また、より具体的な方策を示した学校経営計画も配布いたしますので、合わせてご確認をお願いします。全教職員がこの方針に沿って教育活動を進めてまいります。お気づきの点やご意見などがありましたら、いつでも学校にお問い合わせください。

「本日は春の素晴らしい青空の下、本校第六十七回入学式に百五十二名の新入生のみなさんを受け入れることができ、とてもうれしく思います。ただいま呼名した百五十二名のみなさん、今日からいよいよ蓮沼中学校の一年生です。みなさん一人一人を心から歓迎します。ここ数年は百名前後の新入生でしたので、A組、B組、C組、D組、E組、I組、合わせて五十名も多くなり、ますます活気のあふれた学校になるなとうれしく思っています。

昨年度まで小学生だったみなさんも新たな服に身を包み、気持ちも新たに今日の日を迎えたことと思います。ぜひこの蓮沼中学校で思う存分学び、活動し、遊んでください。そんな気持ちを支え、導いてくれる先輩や先生がこの学校にはいます。共に成長していくことのできる三年間になることを期待しています。

さて、今年度は「生徒のための学校、学ぶことが楽しい学校」を目指し、生徒が通いたくなる学校になるようにしていきたいと考えています。そのために、先生方もいろいろと工夫を凝らしながら進めていきますが、みなさんにもお願いしたいことが二つあります。

一つは、「何事にも疑問や課題意識をもってほしい」ということです。学校生活には、授業、休み時間、給食の時間、委員会活動、部活動の時間など様々な時間があります。どの時間においても、疑問や課題意識をもち、それらを解決できるように自ら考え行動していくことによって、蓮沼中学校がさらに自分のための学校になるのではないかと考えます。昨年度卒業していった三年生は、学校の生活のきまりに疑問をもち、話し合いを通してそれを解決し、新たな生活のきまりを生み出しました。解決するまでには一年間かかりましたが、とてもやりがいのある有意義なものであったし、「生徒のための学校」であると感ずることのできる行動でした。

もう一つは、「仲間と意見を聴き合う関係性を作ってほしい」ということです。蓮沼中学校は様々な場面において4人グループで学んだり、活動したりしていきます。もしかしたら、少し人見知りや周りの人とコミュニケーションをとるのが苦手だなど思っている人がいるかもしれません。でも、4人の小グループなら勇気をもって話せるかもしれません。授業でわからなかったところがあったときに、すぐに聴き合うことによって「学ぶことが楽しい学校」にしてほしいです。

蓮沼中学校では小学校と違って担任の先生が一人ではなく、学年の先生全員が担任の先生です。最初はだれに聞いたらよいか戸惑うこともあるかもしれませんが、すぐに慣れていくと思います。困ったことがあったときは、朝の会に来た先生でも、自分の話しやすいなど思った先生でもだれでもいいので遠慮なく話してください。私も含めて先生はみなさんに遠慮なく話しかけていきます。

最後になりますが、保護者のみなさま、お子さまのご入学、おめでとうございます。十二歳の春を迎えられ、感慨もひとしおだと思います。本日から、六十七年目を迎える伝統ある蓮沼中学校の一人の生徒として責任をもってお預かりいたします。蓮沼中学校に入学させてよかった、楽しかった、充実していた、成長できたと実感できるよう教職員一同、力を合わせ同じビジョンをもち育てていく所存です。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。式辞いたします。

令和四年四月七日

大田区立蓮沼中学校 校長 大山 聡